

令和6年度病害虫発生予察指導情報
対象病害虫：ナシ黒斑病

令和6年8月8日
鳥取県病害虫防除所

表1 ナシ黒斑病の果実における発病率（令和6年）

地 区	ポリ袋検定法による 幼果の発病率 ¹⁾ (%)			被袋果実の発病率 (%)					
	本年	前年	平年 ²⁾	6 月			7 月		
				本年	前年	平年	本年	前年	平年
河原町	0	0	- ⁶⁾	0	0	- ⁶⁾	1.7	0	- ⁶⁾
佐治町	0	0	0 ³⁾	0	0	0 ³⁾	0	0	0.6 ³⁾
青谷町	0	1.0	0.8 ⁴⁾	0	0	1.0 ⁴⁾	0	0	3.7 ⁴⁾
八頭町	0	0	0.3	0	0	0.2	0	0	0.2
湯梨浜町（別所）	0	0	0.5	0	0	0.2	0	0	0
湯梨浜町（勝負谷）	0	0	1.0	0	0	0.3	0	0	0
倉吉市	- ⁵⁾	0	0.5	0	0	0.3	0	0	1.3
北栄町（園試）	5.0	0	1.2	0	0	1.5	5.0	1.7	4.5
琴浦町	0	0	0.8	0	0	0.3	1.7	0	0
南部町	0	0	0.4 ⁴⁾	0	0	0.7 ⁴⁾	0	1.7	1.0 ⁴⁾
平均	0.6	0.1	0.6	0	0	0.5	0.8	0.3	1.3

(注)

- 1) 1園当り100果について調査(試料採取：4月24～5月1日。採取後25℃に静置し、3日目に調査。その後、発病果率を算出)
- 2) 平成26～令和5年の平均値。
- 3) 令和3年より調査地点を変更した。
- 4) 令和元年より調査地点を変更した。
- 5) 伐採により調査できなかった。
- 6) 令和4年6月から調査園を変更。

<要約>

7月23、25、30日に実施した巡回調査の結果、果実における発病率は0.8%（平年：1.3%）と平年に比べてやや低かった。

令和6年度病害虫発生予察指導情報
対象病害虫：ナシ黒斑病

令和6年8月8日
鳥取県病害虫防除所

表2 ナシ黒斑病の新梢葉の発病状況(令和6年)

地 区	新 梢 葉 の 発 病 率 ¹⁾ (%)								
	6 月			7 月			9 月		
	本 年	前 年	平 年 ²⁾	本 年	前 年	平 年 ²⁾	本 年	前 年	平 年 ²⁾
河原町	2.9	0	- ⁵⁾	1.0	1.9	- ⁵⁾		0.6	- ⁵⁾
佐治町	0	0	0.4 ³⁾	1.0	1.4	2.0 ³⁾		3.1	3.7 ³⁾
青谷町	0.5	0	1.7 ⁴⁾	0.5	0.5	3.1 ⁴⁾		0.5	5.3 ⁴⁾
八頭町	1.0	1.2	0.6	3.0	0	1.3		0.5	3.8
湯梨浜町(別所)	0.5	0	2.2	0.6	0.5	1.9		1.8	3.1
湯梨浜町(勝負谷)	1.0	0	1.3	0	0	1.7		24.9	7.4
倉吉市	1.5	0.5	0.9	1.4	1.4	1.9		8.2	5.1
北栄町(園試)	0.5	1.1	3.3	7.0	5.7	11.2		13.5	18.8
琴浦町	1.9	1.0	2.1	1.1	4.9	3.7		8.2	4.2
南部町	0.5	0	0.2 ⁴⁾	0.5	0	0.4 ⁴⁾		1.9	1.7 ⁴⁾
平均	1.0	0.4	1.4	1.6	1.6	3.0		6.3	5.9

(注)

- 1) 1園当たり10新梢について全葉数及び病葉数を調査
- 2) 平成26～令和5年のうち3年以上の平均値。
- 3) 令和3年より調査地点を変更した。
- 4) 令和元年より調査地点を変更した。
- 5) 令和4年6月から調査園を変更。

<要約>

7月23、25、30日に実施した巡回調査の結果、新梢葉における発病率は1.6%（平年：3.0%）と平年に比べてやや低かった。

<対策>

今後、発病の多い園では、降雨が多い場合には慣行防除に加えて追加防除を検討する。防除薬剤には、有機銅水和剤（キノンドーフロアブルまたはドキリンフロアブル）、アリエッティC水和剤、ベルコートフロアブルなどがある。散布にあたっては農薬使用基準に注意する。